



坂戸市立坂戸小学校 **笑顔・感動・花いっぱい**
夢道場・坂戸小だより

- 【学校教育目標】
 ○やさしく (徳)
 ○かしく (知)
 ○たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和3年11月1日
 第17号

11月1日は、『彩の国教育の日』です。(11月1日~7日『彩の国教育週間』)

埼玉県では、保護者の皆さんはもちろんのこと、広く県民の方々に教育に関する理解を深めていただくため、11月1日を『彩の国教育の日』、1日から7日までを『彩の国教育週間』としています。例年、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、学校公開や親子向け体験教室などの事業を多数実施していますが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が自粛されています。このような状況だからこそ、身近な人と「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さや思い出について語り合ってみませんか。心温まる話題で元気で明るい気持ちになる教育週間にしましょう。

右は県からのリーフレットです。内容は、学校・家庭・地域が一体となった「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さを共有し推奨するために、20代以上の方々を対象に行った調査の検証結果です。それによると、「**子供の頃に友達との遊びや自然体験が多かった人ほど、人間関係能力や自尊感情などの資質や能力が高い傾向にある**」、「**子供の頃にお手伝いをよくしていた人ほど、友達などを思いやる気持ちが高い傾向にある**」、「**子供の頃の読書量が多い人ほど、未来志向や社会性などの意識・能力が高い傾向にある**」。

「先生や友達、近所の人など周りから褒められた経験が多かった人、その経験に加え、叱られた経験が多かった人ほど、社会を生き抜く資質・能力の高い人が多くなる傾向がある」という検証データです。坂戸小学校でも、次代を担う子供たちの健全育成のため、保護者・地域の皆様と共に「教育」「共育」「協育」を推進してまいりたいと思います。

『坂戸小・秋の読書月間』。お子さんと一緒にノーマティア・チャレンジ&家読はいかがですか？

坂戸っ子は、運動や外遊びも大好きですが、読書も大好き。今年度のこれまでの貸出冊数は、なんと約28,000冊！これは、昨年度の10月末の20,331冊を優に超えています。

市内No.1の13,522冊の蔵書を有し、市内でも珍しいオープンフロアでエアーカーテン設備のある本校の学校図書館は、読書はもちろん、調べ学習や仲間同士の学び合いの「ふれあいの場」にもなっています。10月は「坂戸小・読書月間」。図書委員会を中心に、通常の本の貸出だけでなく、『おすすめの本』の掲示物の作成や給食時の放送で、自分たちや先生方の『おすすめの本』を紹介するなど、積極的に読書の啓発に取り組んでくれています。

また、本校では、地の利を生かして市立中央図書館とも様々な連携事業を行っています。児童たちには『さかろん読書手帳』が配られ、読書記録を記入して読書に親しんでいます。

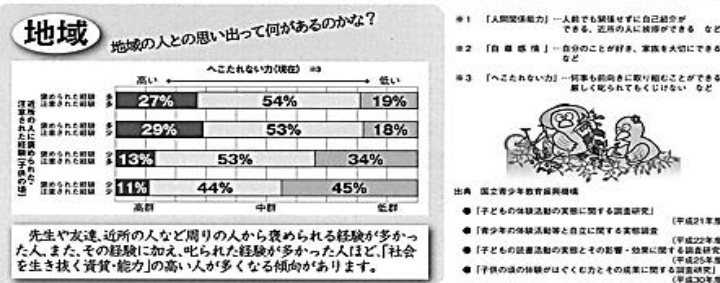
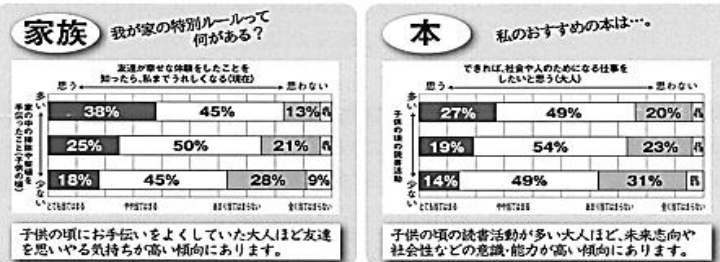
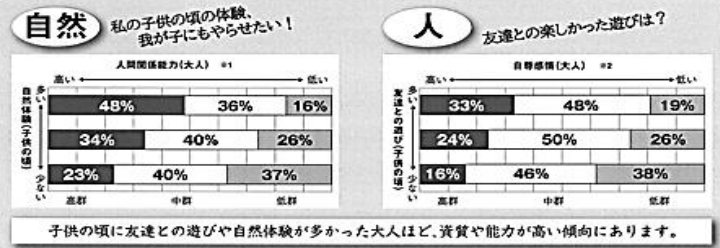
是非、引き続きご家庭でも家読と読書を通して「家族のふれあい」の機会をお願いします。



彩の国 教育の日



子供の頃の様々な経験が、将来の自分を創っていきます。下のグラフは、20代以上の方々を対象に調査を行い、子供の頃の体験が多かったら成果を検証したものです。お子さんと話題にしてみてください。いかがでしょうか。



11月は『埼玉県いじめ撲滅強調月間』

いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、11月を『いじめ撲滅強調月間』として位置付け、いじめ問題根絶に向け、集中的な取組を実施しています。

本校でも、『坂戸小・いじめ0(ゼロ)宣言』を掲げ、「坂戸小・いじめ防止基本方針」のもと、日常の見守りをはじめ、定期・随時の教育相談、月1回の「なかよしアンケート」、hyper-QUの実施、校長ポスト等々、様々な教育指導や授業での啓発指導を通していじめの未然防止や早期発見、早期解決に努めています。学校だより第9号にも掲載しました『家庭用いじめ発見チェックシート』等も参考にいただきながら、お子さんの様子で何か気になることがありましたら、是非ともご相談ください。県から改めて相談窓口の案内がありましたので、再掲いたします。

【相談窓口】

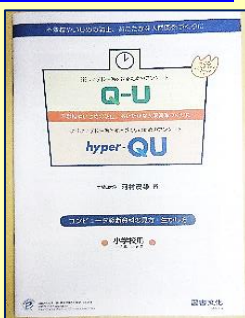
- ❑ 「埼玉県立総合教育センター よい子の電話教育相談」（毎日24時間）
- ❑ 「埼玉県教育委員会 いじめ通報窓口～小・中・高校生の『いじめ』に関する通報」
- ❑ 「埼玉県警察少年サポート」（少年用・保護者等用）
- ❑ 「埼玉県 子どもスマイルネット」
- ❑ 「社会福祉法人 埼玉いのちの電話」
- ❑ 「特定非営利活動法人 さいたまチャイルドライン」
- ❑ 「埼玉県こころの電話（埼玉県立精神保健福祉センター）～心の健康や悩みに関する相談～」
- ❑ 「子どもの人権110番」（法務省人権擁護局）
- ❑ 「子ども人権SOS-eメール」（法務省人権擁護局）
- ❑ 「坂戸市立教育センター 電話相談・面接相談」

*「相談窓口」の電話番号等の連絡先や受付時間の詳細は、本校の生徒指導・教育相談だより「大好き・笑顔いっぱい」第9号、坂戸小ホームページの『埼玉県内の学校に通う児童生徒の皆さんへ～困ったり、悩んだりしたら 誰かに相談しよう～』にも掲載しておりますのでご覧ください。今後とも家庭と連携しながら、子供たちが安心して登校できる学校づくりを推進してまいります。

≪ 夢道場・ほっとインフォメーション ≫

『hyper-QU』へのご理解・ご協力に感謝！ ～いじめ・不登校の未然防止のために～

『hyper-QU』は、一人一人の子供の自尊感情や集団での自己存在感、自己有用感など様々な心の内面を探るアセスメント調査です。県内でも多くの市町村が全小中学校で採用しています。本市では坂戸中学校の他、中学校数校が独自に採用。小学校では本校が一昨年度より保護者の皆様のご理解を頂き、市内唯一採用しています。全国的に大きな課題となっている「いじめ・不登校」の未然防止、児童にとって「居がい、やりがい、行(生)きがいのある集団づくり」に役立っています。家庭用個票が配付されましたら、親子で話し合いの機会をもつていただくとともに、お子さんのことで気になることがありましたら、是非とも学校にご相談ください。



≪ 夢道場・ほっとニュース ≫

『GIGAスクール・サポーターによる訪問指導』

本校では、GIGAスクール構想の取組を着実に推進しています。どの学年・学級でもタブレット端末を文房具の一つのように授業で活用しようとしています。活用内容をさらに広げ、深めるために、市からGIGAスクール・サポーターとして外部指導者の方々も指導に加わり、支援を行ってくださっています。



『電子黒板活用研修プログラム』

先進的にICTを活用した指導のモデル校として、本校を会場に、市の主催で「電子黒板(大型提示装置)活用研修会」が、外部指導者のリモート指導により実施されました。来年度は、デジタル教科書を活用した授業が市内一斉に展開される予定です。



素晴らしい応援でした！『応援団・解団式』

全校が感動で一つになった運動会。翌日の児童朝会で、立派に仲間たちを応援した応援団の解団式が行われました。応援団員の心のこもった挨拶に、校庭中に拍手が響き渡りました。坂戸小の伝統。立派な応援団の姿はこれからも引き継がれます。



2年『1年生とワクワクおもちゃ祭り！』

2年生が生活科の授業で、素敵なアイデアで作製した「遊びのおもちゃ」。『ワクワクおもちゃ祭り』と題し、1年生を招待して、おもちゃ遊びのワークショップを開きました。お兄さん・お姉さんになった2年生たちは、一生懸命に1年生に遊び方の説明をしながら優しく「おもてなし」をしていました。1年生も、時を忘れたかのように楽しんでいました。笑顔いっぱいの心温まるお祭りとなりました。



【校長室より】『いじめ問題に真剣に向き合う子供たち』

校内巡回中に、授業中の教室にしばしばお邪魔する。「あっ！校長先生だ！」。授業に集中していたのに申し訳ない。時として、授業をしていた頃の血が騒ぎ(?)、つい参加してしまうことも。その日は、5年生の道徳の授業。「いじめ」についての題材であった。「いじめは、なぜ起こるのか」、「よくないと分かっているのに、なぜいじめは止まないのか」、「いじめにあっていいる人に対して、自分は何ができるのか」。真剣に考え、自分の意見を出し合う5年生。授業の振り返りで、全員がこの難しい問いに対し、自分の考えをまとめた。「後で、皆の感想を読ませて」。全員のノートに、決して他人事ではなく、いじめに対して真剣に向き合っている感想がびっしりと書かれていた。